

エチオピア月報(2015年9月)

主な出来事

【内政】

- 12日: エリトリアに拠点を有する反エチオピア武装勢力TPDMの指導者 Mola Asgedom 及び数百名の構成員がエチオピアに帰還。
- 22日: 政府広報局は干ばつの影響を受けている国民を支援するために必要な国際社会からの支援が不足している旨発表

【外政】

- 22日: テウォルデ・ゲブレマリアム・エチオピア航空CEOが、潘基文国連事務総長によって持続可能な輸送に関するハイレベル諮問グループの共同議長に任命された。

【経済】

- 8月31日～9月2日: 日経BP社等主催アフリカ・日本ビジネス投資フォーラムが開催
- 17日: アルケベ首相顧問は、アフリカで最初の鉄道大学校の建設を発表。
- 17日: 英国シンクタンクODIが「One foot on the ground, one foot in the air」報告書の中で、エチオピアが今後3年間で世界で最も急速に経済発展すると言及。
- 19日: アディスアベバ市内において、ハイレマリアム首相出席の下、カイゼン授賞式が挙行。
- 22-24日: ウォックナー運輸大臣は、アディスアベバ郊外に新規に大規模空港を建設する旨発表。
- 29日: ジブチとの間で、15.5 億米ドルかけて550kmの天然ガスパイプラインを建設する合意に署名

【内政】

- ・ 12日、エリトリアに拠点を有する反エチオピア武装勢力TPDM(Tigray People's Democratic Movement)の指導者 Mola Asgedom 及び数百名の構成員がエチオピアに帰還した。(13日、Sudan Tribune/14日、エチオピア外務省)
- ・ 20日、南部諸民族州議会は、Dessie Dalkie を州大統領に再任した。(21日、ENA)
- ・ 22日、政府広報局は昨今の干ばつの影響を受けている国民を支援するために必要な国際社会からの支援が不足している旨発表した。(22日、ENA)
- ・ 25日、ティグライ州議会は、Abay Woldu を州大統領に再任した。(25日、ENA)

【外政】

- ・ 9日、エチオピア・イスラエル農業技術フォーラムがアディスアベバにて開催され、両国の閣僚や

民間セクターの代表らが参加した。(9日、エチオピア外務省)

- ・ 10日、ダワノ外務省国務大臣はイスラエル企業の代表団と会談し、エチオピアにおけるパートナーシップやビジネスの可能性につき協議した。(11日、エチオピア外務省)
- ・ 15日、ハイレマリアム首相はアラブ首長国連邦陸軍副幕僚長 Eisa Al Mazrouei 准将による表敬を受けた。(15日、ENA)
- ・ 15日、ベルハネ外務省国務大臣は Jim Maclay ニュージーランド首相特使と会談し、二国間関係の強化、とりわけ安全保障分野における関係強化につき協議した。(15日、ENA)
- ・ 18日、テドロス外相は Pekka Haavisto フィンランド外務省アフリカの角担当特使の表敬を受け、アフリカの角の平和・安全保障及び二国間関係強化につき協議した。(19日、エチオピア外務省)
- ・ 18日、イナガル・デッセ外務省国務大臣はリベリアの Wede Elliot Brownell 国務大臣と会談し、二国間関係全般につき協議した。(21日、エチオピア外務省)
- ・ 22日、テウォルデ・ゲブレマリアム・エチオピア航空CEOは、潘基文国連事務総長によって持続可能な輸送に関するハイレベル諮問グループの共同議長に任命された。(22日、エチオピア外務省)
- ・ 26日、コプト教皇 Tawadros 2世がエチオピアを公式訪問し、エチオピア正教の Abune Mathias 教皇や政府関係者と会談した。(28日、エチオピア外務省)

【経済】

1. 経済・財政・金融

- ・ 17日、英国シンクタンクODIが公表した「One foot on the ground, one foot in the air」によれば、エチオピアは、今後3年間で世界で最も急速に経済発展するとしている。(18日、Sudantribune)
- ・ (日時不明)デリバ・クマ・アディスアベバ市長は、第1次国家開発計画期間中のアディスアベバ市の経済成長が年平均10%であったことを発表した。
- ・ (日時不明)エチオピア国立銀行(National Bank of Ethiopia:NBE)(中央銀行)は、銀行セクターのガバナンス強化を規定した「Banking Corporate Governnace Directive No. SBB/62/2015」を施行した。(27日、Reporter/Fortune)

2. 貿易・投資・ビジネス

- ・ 8月31日～9月2日、日経BP社等主催アフリカ・日本ビジネス投資フォーラムが開催された。(1日、ENA)
- ・ (日時不明)アフリカ開発銀行は、エチオピアを含む3カ国に対し、アフリカ貿易保険庁(ATI)会員出資金のための借款を承認した。エチオピアの受取額は 750 万米ドル。(26-27日、Daily Monitor)

3. インフラ

- ・ 17日、アルケベ首相顧問は、中国政府の支援にて、アフリカで最初の鉄道大学校(Railway Academy)の建設を発表した。(18日、All Africa)
- ・ 20日、エチオピア鉄道公社(Ethiopian Railways Corporation)は、アディスアベバ市内一部区間における軽量軌道鉄道(LRT)の運行を開始した。(19日・26日 Reporter、20日・22日 Ethiopian Herald、21日 Daily Monitor、20日 Fortune、20日・27日 Capital)
- ・ 22日～24日、ウォックナー運輸大臣は、アディスアベバ郊外に新規に大規模空港を建設する旨を発表した。(26日、Reporter)

4. 水・エネルギー

- ・ 9日、中国 Poly Technology Company 社は、エチオピアにおいて向こう3年間で 400 億ガロンの天然ガスを生産することの可能性について言及。(10日、Ethiopian Herald)
- ・ 29日、エチオピアはジブチとの間で、15.5 億米ドルかけて550kmの天然ガスパイプラインを建設する合意に署名した。(30日、エチオピア外務省)

5. 産業/サービス

- ・ 3日、工業省は、250 万米ドルを投じて、国内4地域に農産品加工団地を建設することを表明した。(4日、Ethiopian News Agency)
- ・ 22日、Lion International Bank は、モバイル・バンキング・サービス(サービス名「Hello Cash」)を開始した。(26日、Capital/Reporter)
- ・ 23日、EPEI社は、メケレ(エチオピア北部ティグライ州州都)において、2ヶ月以内に自動車及び軍用品の製造を開始する旨発表した。(23日、Ethiopian News Agency)

- ・(日時不明)中国華堅グループが進める工業団地の建設が、地元住民の移転・補償問題で進捗が遅れている。(27日、Fortune)

6. 各国動向

(米国)

- ・(日時不明)米国政府及び同企業による貿易ミッションがエチオピアを訪問し、エチオピア政府指導者及びビジネスマンと会談した。(17日、Daily Monitor)

7. その他

- ・19日、アディスアベバ市内において、ハイレマリアム首相出席の下、カイゼン授賞式が挙行された。(19日、Ethiopian News Agency)(20日、Ethiopian Herald)